

2024年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 音 楽 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 音 楽 ① 〕 〔 使 用 副 読 本 : Mistic Navigation 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後	1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽の特徴を知り	p60~67	p42,43
		楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を学ぶ。	p140~143,150	p65~67
	2	歌唱、楽典（記譜法、写譜）	「校歌」の歌唱。記譜の方法を学ぶ。	p150	p64,65,ナビ
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	歌唱（フランス歌曲）	Hymne a l' amour	p18,19	
		楽典（楽語）	楽語を理解する。	p153	p97~100
4	楽典（音階、音価）	音階と調、音価を学ぶ。	p150	p78~85	
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
期	5	鑑賞	クラシック音楽の名作の聴き方を学ぶ。	教員が選曲	
	6	楽典（拍子）	様々な拍子の数え方と標記方法を学ぶ。		p68~73
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	7	西洋音楽史①	バロック時代、古典派の音楽を学ぶ。	p128~133	p8~19
8	楽典（コードネーム）	和音とコードネームを学ぶ。	p156,157	p86~90	
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
9	西洋音楽史②	ロマン派、近現代の音楽を学ぶ。	p134~137	p20~37	
10	創作	拍子を理解して作曲する。			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
11	オペラ鑑賞	La traviata	p44~45		
12	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p54~59		
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	日本の伝統音楽（箏曲）	11/7
		日本音名	
	2	写譜	
		音名 調性	
	3	フランス歌曲	
		Hymne a l' amour 音楽用語	
後 半	4	鑑賞	12/5
	5	西洋音楽史	
		作曲	
	6	アルトリコーダー運指	
		世界の民族音楽（南米） コードネーム	

2024年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 音 楽 II 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : Tutti + 〕 〔 使 用 副 読 本 : Mistic Navigation 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後	1	日本の伝統音楽、民謡 楽典（音名）	日本の伝統音楽について理解を深め	p74～77	p42,43
			鑑賞を通して日本文化を考察する。	p116～117	p65～67
	2	歌唱（フランス歌曲） 器楽実習	Les feuilles mortes	p36～37	
			アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	楽典（コードネーム、音階） 鑑賞	和音とコードネーム、短音階を学ぶ。	巻末⑩～⑫	p78～90
			クラシック音楽の名作を味わう。	教員が選曲	
4	楽典（音楽用語、略記号） 器楽実習	音楽用語全般について理解を深める。	p125	p97～103	
		アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
期	5	西洋音楽史	音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりを学び、	p84～97	p8～37
			生み出される表現上の効果を感じ取る。		
	6	世界の民族音楽 器楽実習	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p78～81	
			アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	7	創作（変奏） 移調	個性豊かに創作表現を創意工夫する。	p22,23	p82,83
			調が持つ役割について考える。		p84,85
8					
9					
10					
11					
12					

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	日本の伝統音楽（箏曲）	11/7
		日本音名 古代の日本音楽	
	2	フランス歌曲	
Les feuilles mortes 音楽用語			
3	世界の民族音楽 （ヨーロッパ、ポリネシア）		
	コードネーム 短音階		
後 半	4	鑑賞	12/5
	5	西洋音楽史 変奏	
6	アルトリコーダー運指		
	移調 著作権		

2024年度 学習指導計画表

長尾谷高等学校

[科目名 : 美術 I] [単位数 : 2単位] [使用教科書 : 高校生の美術 1] [使用副読本 :]

学期	授業回	項目	教科書		レポート					
			内容	ページ	副読本	ページ	前/後	回	課題内容	締切日
後	1	模写デッサン	鉛筆の表現。 グラデーションを描く。	132～ 135			前 半	1	デッサン基礎 「5段階のグレースケール」 陰影・中間色の表現	11/7
	2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。 立方体を描く。	132～ 135		2		レタリング 「永」 ゴシック体 デザインの基礎		
	3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。 幾何形態を描く。	132～ 135		3		水彩 「屋内の風景」 水彩技法 パースの概念		
	4	レタリング	文字のプロポーションを学ぶ。 骨格、エレメントなど	149		後 半	4	デッサン 「立体感の表現」 球体を描く タッチの概念 光源の意識	12/5	
	5	レタリング	和文字とアルファベットの違いを学ぶ。	149			5	ピクトグラム「クラブ活動」 クラブ名を前期と変える コンセプトを立てる 要素の引き算		
	6	レタリング	明朝体とゴシック体の違いを学ぶ。	149			6	鑑賞・美術史 絵画・彫刻・デザインの歴史 写真を前期と変える 作品に対する言語表現		
7	色彩構成	色の3原色を使い、混色を学ぶ。 黄←→青、赤←→青、黄←→赤	152～ 154							
8	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を学ぶ。 色彩構成、平面構成	152～ 154							
9	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を学ぶ。 色彩構成、平面構成	152～ 154							
期	10	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77						
	11	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77						
	12	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役割を理解し、様々な情報を具体的な形に表現する。	76・77						

2024年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔科目名：書道Ⅰ〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：書道Ⅰ〕〔使用副読本：高校硬筆の練習〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
後	1	楷書の学習	虞世南の軽快で温和な楷書を臨書する。	p24~25	適宜
	2	孔子丈廟堂碑	楷書の特徴と唐の四大家について学ぶ。	p32~33	
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p38~39	適宜
	4	蘭亭序	王羲之について学ぶ。 文字の配列に気をつけて、臨書する。	p39~48	
	5	隸書の学習	隸書の特徴を理解する。 臧鋒、波磔などの用筆法を学ぶ。	p62~65	適宜
	6	曹全碑	曹全碑を臨書する。	p64~65	
期	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p76~85	適宜
	8	蓬萊切	蓬萊切を臨書する。	p86~87	
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた表 方法をもとに、漢字の書の制作をする。	p70~73	適宜
	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめる。		
	11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に 応じて、工夫する。	p106~123	適宜
	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かし 創作する。		

レポ ー ト				
前/後	回	課 題 内 容	締切日	
前 半	1	「大道」	11/7	
	2	「永和九年」		
	3	ペン字教本 原稿用紙の書き方を学ぶ		
後 半	4	「世紀」		12/5
	5	「おほぞらに むれたつ ~かな」		
	6	漢字の成立と変遷 中国と日本の書家		